

学校発の提案を、
応援しませんか？

戸田市未来の学び応援基金

未来の学びの実現に向けたクラウドファンディングについて

「戸田市から日本の教育を変える」をコンセプトに、これまでの教育・学校の「当たり前」を問い直す、学校主体の夢のある学校改革や教育委員会による産官学民連携の下での教育改革を通じた未来の学びの実現に向け、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施。確保した資金は、一般の寄付金と併せて、戸田市未来の学び応援基金へ積立て。

実施期間

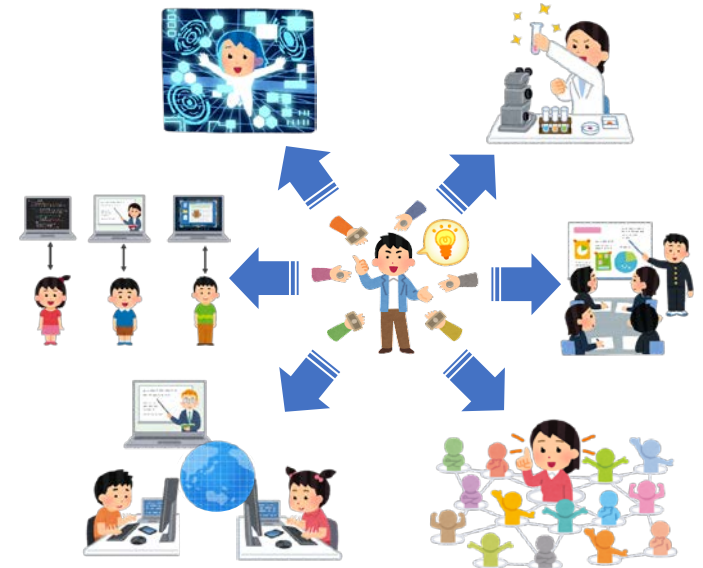
令和4年10月から令和5年3月まで

対象テーマ

PBL（課題解決型学習）、部活動の地域移行、デジタルの活用、自然体験、インクルーシブ教育 など

寄付者への還元

ホームページ等を通じて事業成果報告（高額寄付者は別途検討）



脱・自前主義

脱・教師主導

脱・正解主義

脱・予定調和

脱・3K
(経験と勘と気合い)

未来の学びの実現に向けた5つの要件

提案は、次の要件のうち、**全部又は一部**を満たし、これまでの教育・学校の「**当たり前**」を問い直す**全国的なモデル**となるもの（戸田市未来の学び応援基金条例第2条に規定）

脱・正解主義

正解を探し求める学習から、正解のない課題に取り組む学習や主体的に課題を設定する学習へ転換し、教科等横断的な学び等を実現すること

1

脱・自前主義

学校が全ての教育活動を行うのではなく、産官学民や地域の資源を取り入れながら、社会に開かれた教育課程を真に実現する、持続可能な教育及び学校を目指すこと

2

脱・予定調和

教師により計画された学習に子ども達に取り組むのみならず、想定外の学びや挑戦による失敗を通じたワクワク感や深い学びを達成するものであること

3

脱・教師主導

教師が主導する授業や全ての子ども達が一斉に同じ内容を学ぶ授業から、子どもが主導する学びや個別最適な学びに転換するとともに、子ども同士の、又は子どもと教師の対話によるフィードバックを行うことを通じて、子どもも教師も協働して学び続ける学校を真に実現すること

4

脱・経験と勘と気合い

教師の経験、勘及び気合い（3K）のみによる指導から脱し、暗黙知の共有化及び形式知への転換並びに学習状況の可視化等を通じて、客観的な根拠を参照した政策及び実践を目指すこと。

5

未来の学びの実現に向けた各学校等からの提案内容

学校主体の夢のある学校改革

- ・PBL（課題解決型学習）の更なる推進
- ・自然体験を核とした学校づくり
- ・「夢あふれる飼育小屋」の建設
- ・全教育活動におけるインクルーシブ教育の推進
- ・すべての子供たちにとって居場所となる学校づくり
- ・“大人”と“子供”がともに輝く学校づくり
- ・メタバース技術を活用した美術館の設立
- ・創るために壊す – 新しい“学校の当たり前”づくり –
- ・部活動のあたり前を問い直すスポーツクラブの設立



詳細資料は
こちら！

教育委員会による産官学民との連携の下での教育改革

- ・匠の技の可視化について



※仮に各提案に必要な経費が全て確保できなかった場合でも、各プロジェクトは優先順位を定めるなどした上で、実施する。
※仮に全ての提案の実施に必要な経費以上の資金が確保できた場合には、ある学校の提案内容を他の学校で実施することなど、基金の設置目的及び基本理念を踏まえた他のプロジェクトを実施することに活用予定。

～ 未来の学び応援プロジェクト ～

学校発の提案を、**応援**しませんか？



未来の学びの実現に向けたクラウドファンディングPR動画



▲視聴はこちら

学校発の提案を応援しませんか！～未来の学び応援プロジェクト～


寄附方法

ふるさとチョイス（ふるさと納税サイト）を通じての寄附

クレカ決済

VISA、MASTER、JCBをはじめ5種類のクレジットカードに対応 


キャッシュ決済サービス

d払い、auPAY、楽天ペイなどの決済サービスに対応 

Pay-easy支払



寄附申し込み後にメールで通知されるURLで案内される番号によりATMで支払

コンビニ支払

コンビニエンスストアのレジにて支払  ※ローソン、ファミリーマートなど

戸田市へ直接寄附

ステップ1

寄附の意向を電話やメールで教育政策室へ御連絡  

ステップ2

寄附申出書の記載内容の確認(教育政策室で作成しメールにてファイルを送付) 

ステップ3

戸田市から納付書を送付 

ステップ4

納付書を用いて寄附 

※埼玉りそな、りそな、みずほ、武蔵野銀行などの指定金融機関

学校発の提案を応援しませんか！～未来の学び応援プロジェクト～

税控除について

個人寄附

地方公共団体に対する寄附金のうち、2,000円を超える部分について、**一定の限度額まで所得税と合わせて個人住民税の控除**を受けることが可能

所得税控除

その年に寄附した金額の合計額から2,000円を差し引いた額が、所得金額から控除
控除対象限度額は、地方公共団体以外に対する寄附金と合わせて、総所得金額等の40パーセント

住民税控除

個人住民税所得割額の20パーセントが上限。また、寄附金の控除対象限度額は、地方公共団体以外に対する寄附金と合わせて、その年の総所得金額等の30パーセント

手 続

確定申告又はワンストップ特例にもとづき手続

法人寄附

国や地方公共団体に対する寄附金は、**支払った全額を『損金』に算入**することが可能
※戸田市は『企業版ふるさと納税』は未実施



未来の学び応援プロジェクトを支援してください！

～「戸田市から日本の教育を変える」ガバメントクラウドファンディング挑戦中～



目標金額

5,000,000円

受付期間

2023年3月31日(金)まで

※イラストはイメージです。



学校発の提案を、応援しませんか？

ワクワクするような「夢のある学校改革」を応援してください！

決められた正解をひたすらに探し求める学び。教壇に向かって一列に並んだ机の配置。教師の経験と勘と気合いだけに頼った指導。こうした、これまでの学校・教育の「当たり前」を問い直し、ワクワクする未来の学びを実現するため、学校が動き出しました――

プロジェクト型の学びや部活動の地域移行、メタバース空間での創作活動、体験活動の推進、教職員の対話や意識改革、誰一人取り残されない学校づくり・・・ワクワクするような「夢のある学校改革」の提案が出てきています。こうした「思い」を実現することで、「教育日本一」の実現に向けた更なる一歩を踏み出したい。

寄附金は、各提案を実現するための、アプリの開発や資料購入、研修等経費、人件費等の経費等に活用させていただきます。プロジェクトを指定して寄附する方法、全体的に寄附する方法のどちらでも可能です。

子供たちや学校の「やってみたい」を実現したい！ 戸田市の挑戦に、皆様のご支援をお願いいたします。

戸田市長 菅原 文仁



戸田市は県内1若い、活力に溢れた街です。子育て世帯が多いことから「教育日本一」を目標に掲げ、ICTの効果的な活用や、教育政策シンクタンクの設置など、先進的な取組を積極的に推進しています。未来の学び応援プロジェクトも、全国的なモデルとなる取組として大いに期待しています。

戸田市教育委員会 教育長 戸ヶ崎 勲



戸田市では、「変化する社会の動きを教室に取り入れる」との考えで、様々な教育改革の取組を推進しています。今回のプロジェクトでは、子供たちや学校の「やってみたい」という夢を応援し、これまでの教育の「当たり前」に一石を投じる、ワクワクする未来の学びを皆様と一緒に創り上げたいと考えています。是非、皆様のご支援をお願いいたします。

お申込みはインターネットが便利！（ふるさとチョイスガバメントクラウドファンディングへ）

URL <https://www.furusato-tax.jp/gcf/1998>



※このプロジェクトへの寄附は、ふるさと納税対象です。自己負担2,000円で地域を応援できるふるさと納税の詳細は裏面へ

寄附完了までの流れ

手順① 戸田市のプロジェクトページにアクセス

右記URL（又はQRコード）より
戸田市のプロジェクトページにアクセス

URL <https://www.furusato-tax.jp/gcf/1998>



手順② お申込み手続きを行う

ふるさと納税で応援

ボタンを選択し、寄附金額入力ページへ移動。寄附金額を入力後、ページに従い入力を進める。

手順③ 決済を完了する

ご利用可能な決済方法は右記の通りです。

ご利用可能な決済方法

クレジットカード払い/楽天ペイ/Amazon Pay
メルペイ/PayPal/d払い/auかんたん決済/au WALLET
ソフトバンクまとめて支払い/ネットバンク支払い
ペイジー支払い/コンビニ支払い

手順④ 寄附完了

後日、受領証明書をお受取りください。※寄附金控除手続きもお忘れなく！

寄附の手順やプロジェクトについてのお問い合わせはこちら！

埼玉県戸田市教育委員会 教育政策室 【TEL】048-441-1800 【FAX】048-443-9033

【URL】 <https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/373/kurafan1.html>

ガバメントクラウドファンディングとは？

使い道に共感しふるさと納税を利用して
行うクラウドファンディング

ガバメントクラウドファンディング（GCF）とは、ふるさとチョイスがふるさと納税制度を活用して行うクラウドファンディングです。

自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組みです。



※GCFの詳細はこちら： <https://www.furusato-tax.jp/gcf/about>

ふるさと納税とは？

「あなた」と「ふるさと」をつなぐ
ふるさと納税



ふるさと納税とは、ふるさとや応援したい自治体に寄附ができる制度のことです。手続きをすると、所得税や住民税の還付・控除が受けられます。

ふるさと納税は、自分の選んだ自治体に寄附を行うと、**控除上限額内の2,000円を越える部分**について税金が控除されます。

※ふるさと納税の詳細はこちら： <https://www.furusato-tax.jp/about>

ふるさと納税サイトや戸田市HPから各提案の詳細を御覧いただけます！！

戸田市未来の学び応援基金条例について

- 「**社会に開かれた教育課程**」の実現が求められる中、本市においては、これまでも「**変化する社会の動きを教室に取り入れる**」との考えのもと、ICTを文房具として活用した子供たち一人ひとりのニーズに応じた学びなどに、**他の自治体に先駆けて**取り組んできた。
- 今後、**学校現場からのニーズ**を踏まえ、こうした**先進的な取組をより一層後押し**し、「**教育日本一**」の実現に向けた**更なる一歩**を踏み出すため、以下の取組を実施。



- 令和4年度において**ふるさと納税を活用したクラウドファンディング等を実施**し、**学校主体の「夢のある学校改革」の提案**や**教育委員会による産官学民との連携の下での教育改革**に対する経費を寄附額から支援。
- 並行して、長期的にそうした経費を確保し、**年度を超えて機動的に運用**できるようにするため、「**戸田市未来の学び応援基金条例案**」を令和4年9月議会に提出。
(※基金の原資には、9月定例会時点では、令和2年度に実施したクラウドファンディングで確保した資金の一部を充当。)

<今後のスケジュール（今後変更が有り得る。）>

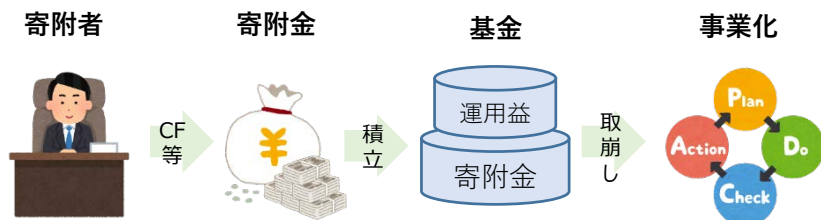
令和4年	8月	基金条例案提出（9月定例会）	→	9月22日	基金条例案可決・成立
	10月	クラウドファンディング開始			
令和5年	3月	クラウドファンディング終了			
	6月	提案内容の事業化			

※なお、本基金は、**公費負担の転嫁の趣旨で設置するものではない。**

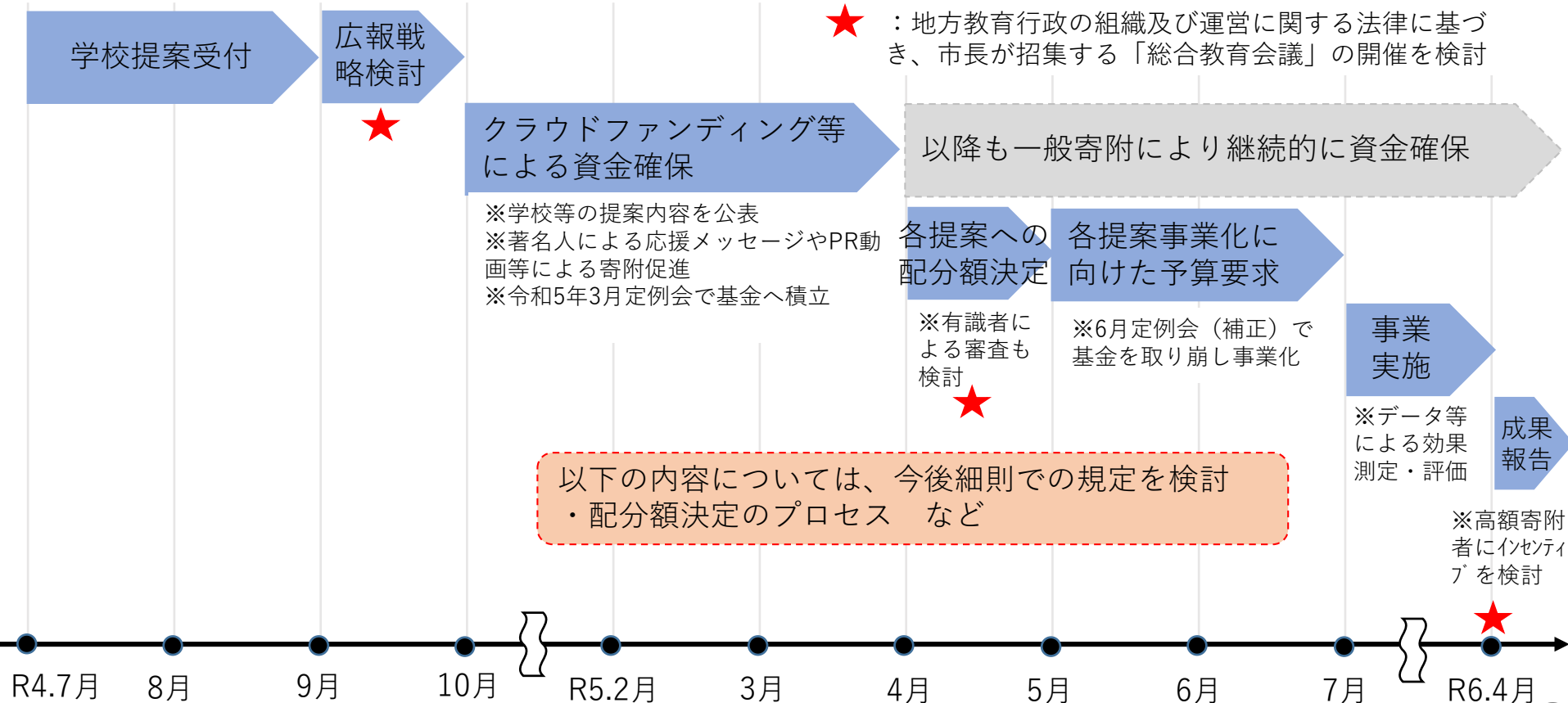
戸田市未来の学び応援基金の活用について

設置目的

本市の学校を日本の教育改革のモデルとするという趣旨に基づき、校長発の夢のある学校改革や教育委員会による産官学民連携の下での教育改革を通じた未来の学びの実現に要する経費を寄附等により確保し、年度を超えて機動的に運用



今後のスケジュール (現時点での想定であり、今後変更が有り得る)



未来の学び応援プロジェクトの詳細はこちら！

○戸田市クラウドファンディング専用ページ

★PR動画や各提案の詳細資料もご覧いただけます！



戸田東小学校PBLプラットフォーム構築プロジェクト

子どもたちの学びを「つなぐ」 子どもたちの学びのプラットフォームの構築
～ 学びのコントローラーを教師から子どもへ ～

Before

- ▲ 学びの発信は、限られていた。【#40】
- ▲ 学びのイメージがつかみにくい。【#40】
- ▲ これまでのようなプロジェクトがあったのを知りたい。【子ども・保護者・支援者】
- ▲ 地域や外部との連携は教師が調整することになり時間が足りない。【教員】
- ▲ これまでのようなプロジェクトがあったかわからない。【支援者】
- ▲ 子供たちがどのような学びを進めているのかわからない。【支援者】

Proposal

【アプリ概要】
子どもが学びを発信・子どもがサポートしてほしい内容を発信するプラットフォーム。
保護者、地域の人、企業等が授業のサポートなど支援できること、子どもたちに解決してほしい課題などを登録。
子ども・支援者の登録内容によってマッチング、お知らせ機能有り。
○プロジェクト一覧（レスポンス機能「興味があります」⇒成果お知らせ）
○プロジェクト成果（レスポンス機能「いいね」）
○PBLしずサポート人材バンク（マッチング機能、お知らせ機能）
○プロジェクト一覧にやりませんかや参加メンバー募集（掲示板機能）
○Lのめクラウドファンディング（ランニングコスト補填・成果物の提供 等）
○教員用PBL研修コンテンツページ 一般用PBL説明コンテンツページ

特徴

- PBLコーディネーター(500/年)
- システム・アプリ構築(1,000/初期)
- システム管理(1000/年)
- (個人情報・著作権管理も含む)
- 利用規約作成・審査(50/年)

Potential

- Self-Organized Learningで協働を促進
- 戸田市に特長
- コラボレーションのチャンスが拡大
- メタバースによるPBL大会の実現等

○戸田市教育委員会公式 note



戸田市教育委員会note

戸田市教育委員会が運営する公式noteです。全国でも先進的な本市の教育改革への挑戦をより多くの方に知っていただき、こども達の未来の学びの実現に向けた取組を一層前に進めていきたいと考えています。産官学との連携、不登校対策、ICT、PBLなどのテーマについてお届けします。

1 フォロー 57 フォロワー

★今回の募集にかける思いや応援メッセージを掲載します！

